



SIP フェデレーション用の IM および Presence サービスの構成

このセクションでは、SIP フェデレーション用の IM and Presence サービスの構成について説明します。

- [SIP フェデレーテッド ドメインの追加 \(1 ページ\)](#)
- [IM および Presence サービスのルーティング構成 \(2 ページ\)](#)
- [フェデレーションルーティング パラメータの構成 \(4 ページ\)](#)
- [IM および Presence サービスでセキュリティ設定の構成 \(5 ページ\)](#)
- [IM および Presence サービスでセキュリティ設定の構成 \(6 ページ\)](#)
- [AOL を使用した SIP フェデレーションの構成ワークフロー \(7 ページ\)](#)
- [SIP フェデレーションサービスをオンにする \(9 ページ\)](#)

SIP フェデレーテッド ドメインの追加



- (注) SIP フェデレーションとリモート コール制御 (RCC) は、同じ IM and Presence Service クラスター上で連携しません。これは、SIP フェデレーションの場合、ユーザーは Cisco IM and Presence サービスと Microsoft Lync/S4B の両方のライセンスを取得できないためですが、RCC の場合、ユーザーは Cisco IM and Presence サービスと Microsoft Lync/S4b のライセンスを同時に取得する必要があります。

フェデレーテッド ドメイン エントリを設定すると、IM and Presence Service は自動的にフェデレーテッド ドメイン エントリの着信 ACL を追加します。フェデレーテッド ドメインに関連付けられている着信 ACL は、**Cisco Unified CM IM and Presence Administration** のユーザー インターフェイスで確認できますが、変更や削除はできません。(関連付けられた) フェデレーテッド ドメイン エントリを削除する場合にのみ、着信 ACL を削除できます。

- ステップ 1 **Cisco Unified CM IM and Presence Administration** のユーザ インターフェイスにログインします。[プレゼンス (Presence)] > [ドメイン間フェデレーション (Interdomain Federation)] > [SIP フェデレーション (SIP Federation)] を選択します。
- ステップ 2 [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3 [ドメイン名 (Domain Name)] フィールドにフェデレーテッド ドメイン名を入力します。
- ステップ 4 [説明 (Description)] フィールドにフェデレーテッド ドメインを識別する説明を入力します。このテキスト文字列は、[ドメインの管理 (Manage Domains)] タブから使用可能な Cisco Jabber リリース 8.x のプライバシー設定でユーザーに表示されます。したがって、ユーザーが簡単に認識できるドメイン名を入力してください。
- ステップ 5 **Lync/S4B** へのドメイン間を選択します
- ステップ 6 Microsoft とのフェデレーションを設定している場合は、[直接フェデレーション (Direct Federation)] のチェックボックスがオフになっていることを確認します。
- ステップ 7 [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 8 SIP フェデレーテッドドメインを追加、編集、または削除した後、Cisco XCP ルータを再起動します。Cisco **Unified IM and Presence Serviceability** のユーザ インターフェイスにログインします。[ツール (Tools)] > [コントロール センター - ネットワーク サービス (Control Center - Network Services)] を選択して、Cisco XCP ルータを再起動すると、IM and Presence Service のすべての XCP サービスが再起動されます。

IM および Presence サービスのルーティング構成

このセクションでは、IM and Presence Service でのルーティング設定の概念について説明します。

SIP フェデレーションの DNS 構成

ローカル IM and Presence Service エンタープライズでは、IM and Presence Service は、他のドメインが DNS SRV を介して IM and Presence Service ノードを検出できるように、各ローカル IM and Presence Service ドメインの DNS SRV レコードをパブリッシュする必要があります。各 DNS SRV レコードは、同じパブリック IP アドレスに解決される必要があります。

Microsoft 企業展開では、IM and Presence Service が IM and Presence Service ドメインの DNS SRV レコードをパブリッシュする必要があります。これは、IM and Presence Service を Access Edge サーバでパブリック IM プロバイダとして構成するためです。

IM and Presence Service 企業展開では、ポート 5061 を介して `_sipfederationtls._tcp.imp_domain` を指す DNS SRV レコードを構成する必要があります (`imp_domain` は IM and Presence Service ドメインの名前)。この DNS SRV は、ルーティング IM and Presence Service のパブリック FQDN を指す必要があります。この FQDN は一般に解決可能である必要があります。

IM and Presence Service が外部ドメインを検出するには、外部ドメインの外部インターフェイスの FQDN を指す DNS SRV レコードが外部ドメインの DNS サーバに存在する必要があります。



ヒント DNS SRV ルックアップを実行するには、次の一連のコマンドを使用します。

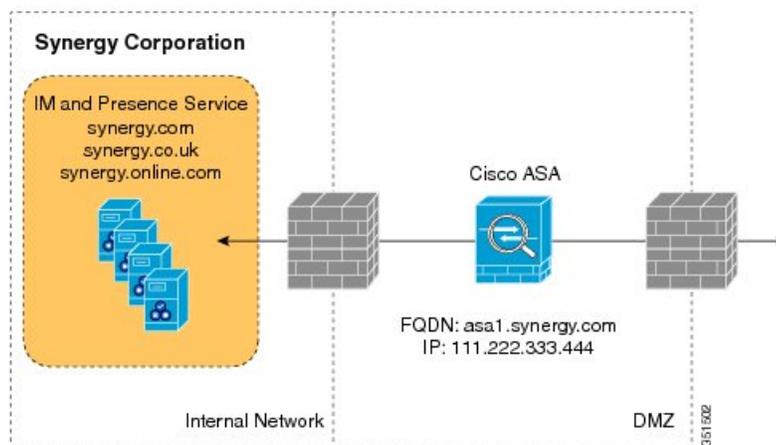
```
nslookupset type=srv _sipfederationtls._tcp.domain
```

IM and Presence Service がパブリック DNS ルックアップを介して外部エンタープライズを解決できない場合は、展開でスタティック ルートを構成する必要があります。

ドメイン間フェデレーション展開での SIP DNS SRV

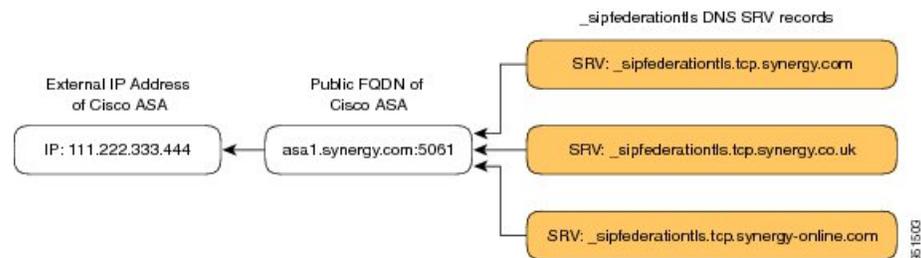
次の例では、複数のローカルドメインをすべて同じパブリック FQDN に解決する必要があります。IM and Presence Service 展開でホストされているドメインごとに DNS SRV レコードを公開する必要があります。次の図は、3つのローカルドメインを使用したドメイン間フェデレーション展開の例を示しています。ドメインごとに `_sipfederationtls` DNS SRV レコードを公開する必要があります。

図 1: SIP ベースのフェデレーションドメイン間展開での複数のドメイン



次の図に示すように、各 DNS SRV レコードは、DMZ（ポート 5061）に展開されている Cisco Expressway-C の外部（パブリック）IP アドレスの FQDN に対して解決される必要があります。

図 2: Cisco Expressway-C の FQDN に解決する SIP DNS SRV



関連項目

TLS を使用したスタティック ルートの構成 (4 ページ)

TLS を使用したスタティック ルートの構成



(注) スタティック ルートの設定は、SIP フェデレーションにのみ適用されます。

IM and Presence Service ノードが DNS SRV を使用して外部ドメインを検出できない場合は、外部ドメインの外部インターフェイスを指すスタティック ルートを IM and Presence Service に設定する必要があります。

ステップ 1 Cisco Unified CM IM and Presence Administration のユーザ インターフェイスにログインします。[プレゼンス (Presence)] > [ルーティング (Routing)] > [静的ルート (Static Routes)] を選択します。

ステップ 2 スタティック ルート パラメータを次のように構成します。

- 接続先パターン値は、外部エンタープライズドメインが逆になるように構成する必要があります。たとえば、ドメインが「domaina.com」の場合、接続先パターンの値は「.com.domaina.*」である必要があります。
- Next Hop 値は、Microsoft サーバーとのフェデレーション用の 外部 Access Edge の FQDN または IP アドレスです。
- Next Hop ポート番号は **5061** です。
- [ルートタイプ (Route Type)] の値は **domain** です。
- [プロトコルタイプ (Protocol Type)] は **TLS** です。

ステップ 3 [保存 (Save)] をクリックします。

フェデレーションルーティング パラメータの構成

始める前に

フェデレーションルーティング パラメータをリセットする必要がある場合は、この手順を使用します。デフォルトでは、このパラメータはインストール時にパブリッシャノードの FQDN に自動的に設定されます。IM and Presence Service は、この値を各サブスクライバノードに渡します。

ステップ 1 Cisco Unified CM IM and Presence Administration のユーザーインターフェイスにログインします。[システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)] を選択します。

ステップ 2 [サーバ (Server)] ドロップダウンリストから [IM and Presence Service] ノードを選択します。

ステップ 3 [サービス (Service)] ドロップダウンリストから、[Cisco SIP プロキシ (Cisco SIP Proxy)] を選択します。

ステップ 4 [フェデレーションルーティングパラメータ (クラスタ全体) (Federation Routing Parameters (Clusterwide))] セクションで、[フェデレーションルーティング IM およびプレゼンス FQDN (Federation Routing IM and Presence FQDN)] のパブリック FQDN 値を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。

(注) • この FQDN 値は、その IM and Presence Service ドメインのパブリック DNS の `_sipfederationtls` エントリに対応している必要があります。例：

- プレゼンスサーバの FQDN が `imp1.cisco.com` で、DNS SRV が `_sipinternaltls` です。
`_tcp.cisco.com` (FQDN `imp1-public.cisco.com` を指す) の場合、フェデレーションルーティング FQDN は、`imp1-public.cisco.com` になります。
- プレゼンスサーバの FQDN が `imp1.cisco.com` で、DNS SRV が `_sipinternaltls` です。
`_tcp.extcisco.com` (`imp1-public.ciscoext.com`) の場合、フェデレーションルーティング FQDN は、`imp1-public.ciscoext.com` になります。

(注) このパラメータは、プレゼンスサーバと Lync Server の間に TLS プロキシを使用したファイアウォール (ASA) があり、[プレゼンス (Presence)] > [ドメイン間フェデレーション (Inter-domain federation)] > [SIP フェデレーション (SIP Federation)] で [直接フェデレーション (Direct Federation)] チェックボックスがオンになっているフェデレーションには適用されません。

- ルーティング IM and Presence Service ノードにユーザーを割り当てる場合、この FQDN 値をルーティング IM and Presence Service ノードの実際の FQDN と同じにすることはできません。

次のタスク

IM and Presence Service のフェデレーションルーティング FQDN パラメータを変更した場合は、Cisco XCP ルータを再起動します。Cisco Unified Serviceability のユーザーインターフェイスにログインし、**Cisco Unified Serviceability** で [ツール (Tools)] > [コントロールセンター (Control Center)] - [ネットワーク サービス (Network Services)] を選択します。

Cisco XCP ルータを再起動すると、IM and Presence Service 上のすべての XCP サービスが再起動されます。

IM および Presence サービスでセキュリティ設定の構成



- (注) この手順は、企業内でフェデレーションを展開し、セキュアな TLS 接続が必要な場合など、フェデレーション展開に Cisco Expressway-C がいない場合にのみ適用されます。



(注) Microsoft Lync は EC 暗号をサポートしていません。EC 暗号を選択する場合は、非 EC 暗号のみを選択するか、EC 暗号と非 EC 暗号を組み合わせて選択する必要があります。EC 暗号を単独で選択することはできません。



(注) Default_Cisco_SIP_Proxy_Peer_Auth_TLS_Context は、追加の強力な暗号の選択をサポートします。必要な設定に基づいて適切な暗号方式を選択できます。ドメイン間フェデレーションを設定する前に、選択した暗号リストがピアでサポートされている暗号と一致していることを確認する必要があります。

新しい TLS ピア サブジェクトの作成

Cisco Expressway-C セキュリティ証明書を IM and Presence Service にインポートすると、IM and Presence Service は Cisco Expressway-C を TLS ピア サブジェクトとして自動的に追加します。したがって、IM and Presence Service で TLS ピア サブジェクトとして Cisco Expressway-C を手動で追加する必要はありません。

- ステップ 1** Cisco Unified CM IM and Presence Administration のユーザ インターフェイスにログインします。[システム (System)] > [セキュリティ (Security)] > [TLS ピア サブジェクト (TLS Peer Subjects)]
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** 次のいずれかの値を入力します。
- Microsoft サーバーとの SIP フェデレーションを設定する場合は、[ピア サブジェクト名 (Peer Subject Name)] フィールドにアクセス エッジ サーバーの外部 FQDN を入力します。この値は、Microsoft Access Edge サーバーが提示する証明書のサブジェクト CN と一致する必要があります。
- ステップ 4** [説明 (Description)] フィールドに外部サーバーの名前を入力します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。

IM および Presence サービスでセキュリティ設定の構成



(注) この手順は、企業内でフェデレーションを展開し、セキュアな TLS 接続が必要な場合など、フェデレーション展開に Cisco Expressway-C がない場合にのみ適用されます。



- (注) Microsoft Lync は EC 暗号をサポートしていません。EC 暗号を選択する場合は、非 EC 暗号のみを選択するか、EC 暗号と非 EC 暗号を組み合わせる必要があります。EC 暗号を単独で選択することはできません。



- (注) Default_Cisco_SIP_Proxy_Peer_Auth_TLS_Context は、追加の強力な暗号の選択をサポートします。必要な設定に基づいて適切な暗号方式を選択できます。ドメイン間フェデレーションを設定する前に、選択した暗号リストがピアでサポートされている暗号と一致していることを確認する必要があります。

AOL を使用した SIP フェデレーションの構成ワークフロー

- AOL フェデレーションを有効にするには、AOL ライセンスを確立します。「[AOL フェデレーションのライセンス要件](#)」、「[AOL ルーティング情報の要件](#)」、および「[AOL プロビジョニング情報の要件](#)」を参照してください。
- AOL フェデレーション用に IM and Presence Service でフェデレーテッド ドメインを構成します。[SIP フェデレーテッド ドメインの追加 \(1 ページ\)](#)「」を参照してください。
- DNS SRV レコードの構成は、「[SIP フェデレーションの DNS 構成 \(2 ページ\)](#)」を参照してください。DNS を使用していない場合は、次の手順を参照してください。
- AOL フェデレーションのルーティングを構成します。「[TLS を使用したスタティック ルートの構成 \(4 ページ\)](#)」を参照してください。
- (オプション) AOL でホストされているドメインのデフォルト フェデレーション ルーティング ドメインを確認して構成します。
- (オプション) フェデレーション機能の電子メールアドレスを設定します。「[フェデレーション用の電子メールをオンにする](#)」を参照してください。
- IM and Presence Service で TLS セキュリティ設定と証明書を構成します。「[IM および Presence サービスでセキュリティ設定の構成 \(5 ページ\)](#)」および「[Cisco 適応型セキュリティ アプライアンスと AOL SIP アクセス ゲートウェイ間のセキュリティ証明書の交換](#)」を参照してください。
- AOL の Cisco 適応型セキュリティ アプライアンス for AOL を構成します。AOL FQDN、サーバポート、およびパブリック IP アドレスの詳細については、[AOL SIP アクセス ゲートウェイ](#) を参照してください。
- (オプション) 冗長性のためにロードバランサを設定します。「[SIP フェデレーションの冗長性のためのロード バランサの構成](#)」を参照してください。

AOL を使用した SIP フェデレーションの SIP 要求のルーティング



(注) IM and Presence Service リリース 9.0 は、AOL との SIP フェデレーションをサポートします。

AOL を使用した SIP フェデレーションにより、IM and Presence Service ユーザは次のユーザーとフェデレーションできます。

- AOL パブリックコミュニティのユーザー (例: aiim.com、aol.com)。
- ドメインが AOL によってホストされている企業のユーザー。
- AOL とフェデレートする外部企業のユーザー。IM and Presence Service は、これらの外部企業とフェデレーションするためのクリアリングハウスとして AOL を使用できます。

たとえば、AOL は「hosteddomain.com」というドメインを持つ企業をホストし、「acompany.com」というドメインを持つ AOL とフェデレーションしている企業があります。IM and Presence Service でこれらのドメインごとに SIP フェデレーションドメインエントリーを追加して、IM and Presence Service ユーザーが users@hosteddomain.com および users@acompany.com とフェデレーションできるようにすることができます。

IM and Presence Service のルーティングロジックは、AOL を介してフェデレーションするドメインへのルーティングをサポートするように拡張されています。SIP フェデレーションと AOL を設定すると、IM and Presence Service はデフォルトのフェデレーションルーティングドメインに基づいてメッセージをルーティングします。このドメインのデフォルト値は「aol.com」です。



(注) ここで説明するルーティングは、「Inter-domain to AOL」タイプのフェデレーションドメインを設定する場合にのみ適用されます。

フェデレートドユーザーが AOL のホステッドドメインの 1 つに属している場合 (aol.com 以外のドメイン)、IM and Presence Service は次の手順を実行します。

ステップ 1 ホステッドドメインのスタティックルートのルックアップ。スタティックルートが存在しない場合、IM and Presence Service は次を実行します。

ステップ 2 ホストされたドメインの DNS SRV ルックアップ。ルックアップで何も返されない場合、IM and Presence Service は次を実行します。

ステップ 3 デフォルトのフェデレーションルーティングドメイン (デフォルトでは aol.com) のスタティックルートのルックアップ。スタティックルートが存在しない場合、IM and Presence Service は次を実行します。

ステップ 4 デフォルトのフェデレーションルーティングドメイン (デフォルトでは aol.com) の DNS SRV ルックアップ。

フェデレートドユーザーがデフォルトの AOL ドメイン (user@aol.com) にある場合、IM and Presence Service は次の手順を実行します。

- ステップ5** デフォルト AOL ドメイン（デフォルトでは `ao1.com`）のスタティックルートのルックアップ。スタティックルートが IM and Presence Service に存在しない場合、
- ステップ6** デフォルトのフェデレーションルーティングドメイン（デフォルトでは `ao1.com`）の DNS SRV ルックアップします。

関連トピック

[AOL を使用した SIP フェデレーションのデフォルトフェデレーションルーティングドメインの変更](#)

SIP フェデレーションサービスをオンにする

Cisco XCP SIP Federation Connection Manager サービスをオンにします。これにより、プロビジョニングする各ユーザーの SIP フェデレーション機能がオンになります。このタスクは、クラスター内の各ノードで実行する必要があります。

-
- ステップ1** **Cisco Unified IM and Presence Serviceability** のユーザーインターフェイスにログインします。[Tools (ツール)] > [Service Activation (サービス アクティベーション)] を選択します。
- ステップ2** [サーバー (Server)] ドロップダウンリストからサーバーを選択します。
- ステップ3** [移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ4** [IM and Presence Service] エリアで、**Cisco XCP XMPP Federation Connection Manager** サービスの横にあるボタンをクリックします。
- ステップ5** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ6** SIP フェデレーションが機能するには、Cisco SIP プロキシ サービスが実行されている必要があります。**Cisco Unified IM and Presence Serviceability** のユーザーインターフェイスにログインします。[ツール (Tools)] > [機能サービス (Feature Services)] を選択し、Cisco SIP プロキシ サービスが実行されていることを確認します。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。